

参考

第3回板橋区交通政策基本計画策定委員会における ご意見と事務局回答について

※「太字」は第3回策定委員会後に頂戴した意見

1) 来年度以降の策定スケジュールについて

No.	意見概要	意見・質疑に対する 事務局からの回答
1.	資料1裏面の「案」とは何か。 《いわい委員》	「案」は「骨子」に肉付けしたものであり、計画としての区の考え方や具体的な施策をまとめたものになります。
2.	パブリックコメント以外の意見聴取は行わないのか。他にも意見を聞くことが必要ではないか。 《いわい委員》	今後も委員に意見をいただきながら取りまとめていきたいと思っています。
3.	区議会は、本計画の策定にどのように関わるのか。 《いわい委員》	区議会には、6月、10月、2月の都市建設委員会にて報告する予定です。
4.	資料1裏面の「案の策定」とは、「概ね計画策定」を意味するのか。 《大島委員》	計画(案)を策定委員会で策定し、その後、議会等にも報告しながら、区としての計画を決定するような流れで進めて参ります。
5.	策定までの期間が短すぎる。案の決定時期を後ろにずらすことはできないのか。 《大島委員》	12月の時点でパブリックコメントを反映した内容を委員会で決めていただいた後に、議会等へ報告する関係で、12月の策定委員会が計画(案)の策定のまとめになります。

2) 計画骨子（案）について

No.	意見概要	意見・質疑に対する 事務局からの回答
6.	<p>一人乗りの次世代スマートモビリティや空飛ぶクルマなど、世の中が急速に変化していく。できる限り、今ある情報を盛り込んでいく必要がある。</p> <p>《五十嵐委員》</p>	<p>次回委員会にて、社会動向を更新予定です。</p>
7.	<p>スマホを活用したサービスや、車のサービスなど、先進的な取組を回委員会にて情報提供してほしい。</p> <p>《岸井会長》</p>	<p>次回委員会にて、先進的な取組概要を提示予定です。</p>
8.	<p>大山駅の駅前広場整備については、もめている状況にあるが、駅周辺の基盤強化について、具体的に計画に盛り込むのか。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>駅周辺の基盤強化については、駅前広場の改修や、場所によっては新たな駅前広場の整備等、また、公共機関との乗り継ぎの改善等も含め、計画に盛り込んでいく予定です。</p>
9.	<p>都市計画道路（補助 26 号）については裁判になっているが、都市計画道路の整備において、補助 26 号も記載に含まれるのか。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>都市計画道路の整備に関しては、都市づくりビジョンに記載されている内容を参考にしつつ、本計画では、優先整備路線等に位置付けられていない未着手な路線等の重要度等を検討した後、最終的な記載の有無を判断したいと考えています。</p>
10.	<p>鉄道の高架化については、議会で意見が分かれているため、駅の立体化の記載は、高架化が前提では困る。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>鉄道の立体化については、地下化や高架化という選択肢がありますが、道路側が立体することもあるため、鉄道の高架化を前提として記載したものではありません。</p>
11.	<p>地域公共交通会議には、区民はどのように関わるのか。いろんなワー</p>	<p>計画に、地域公共交通に関わる会議への区民の関わり方を記載予定</p>

	クシヨップ、懇談会を開催してほしい。 《いわい委員》	です。
12.	アナログの方やスマホユーザーなど、どんな人でも移動に困らないまちにしてほしい。 《いわい委員》	ご意見ありがとうございます。誰もが安心・安全・快適に移動できるまちをめざした計画を策定していきたいと考えております。
13.	区民が話し合いに参加すると、まとめるのが大変なため、区民の代表として、区議に話し合いに参画していただき、話し合っていることを広く伝えてほしい。 《黒瀬委員》	計画に、地域公共交通会議への区民の関わり方を記載予定です。
14.	計画の骨子をアピールする広報も必要である。 《岸井会長》	広報活動については、今後検討して参ります。
15.	施策については、もう少しブラッシュアップして、板橋らしさを出せるようメリハリをつけるべきではないか。 《岸井会長》	次回委員会では、施策をブラッシュアップ（メリハリを付ける、区の特徴を出す）した計画案を示せるよう準備します。
16.	施策については、理想論ではなく、具現化できることを示してほしい。 《大島委員》	次回委員会では、施策をブラッシュアップ（メリハリを付ける、区の特徴を出す）した計画案を示せるよう準備します。
17.	施策（案）のうち、「子育て世帯・高齢者等の移動支援の検討」については、具体的に記載してほしい。 《萱場委員》	施策展開のページにおいて、「子育て世帯・高齢者等の移動支援の検討」の詳細を記載する予定です。
18.	2－5交通に関わる社会動向（P36～P38）に関して、国土交通白書からの抜粋がいくつか掲載されていますが、全て「国土交通白書2013」となっています。最	ご指摘ありがとうございます。最新の情報に更新させていただきます。

	<p>新版は「平成 29 年度国土交通白書」となります。内容が更新されているのであれば、最新版を掲載した方がいいのでは？と感じました。また、たとえば、P37「交通サービスの担い手の不足」の部分に「資料：国土交通省資料」とありますが、この記載だけでは、国交省のどの部分の資料からの抜粋なのかが分かりません。他の箇所との整合もありますが、できれば、出典元をもう少し詳しく書いた方がよいのではないかと感じました。</p> <p>《金森委員》</p>	
--	---	--

3) 施策イメージについて

No.	意見概要	意見・質疑に対する事務局からの回答
19.	<p>20 年後はどうなっているか分からない。柔軟に変えることができる施策にすべきではないか。</p> <p>《萱場委員》</p>	<p>社会情勢を踏まえた上で、少なくとも 5 年程度で順次更新していく必要があると思っています。</p>
20.	<p>計画について、定期的にチェックすることが必要である。</p> <p>《岸井会長》</p>	<p>定期的な見直しについて、計画に記載予定です。</p>
21.	<p>上位計画に掲げられている区の長期的な将来ビジョンを共有することが大切である。次回委員会で整理・共有してほしい。</p> <p>《岸井会長》</p>	<p>次回委員会に、区の長期的な将来ビジョンを提示予定です。</p>
22.	<p>取り組んでいくことについて、現状や 20 年後の数値を入れてほしい。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>可能な範囲で、計画に数値目標を記載予定です。</p>

23.	<p>今ある計画を並べ直すだけではもったいない。 《いわい委員》</p>	<p>次回委員会では、施策をブラッシュアップ（メリハリを付ける、区の特徴を出す）した計画案を示せるよう準備します。</p>
24.	<p>施策（案）の中身について、どういう範囲なのか、ハード・ソフトのいずれかなどを分かりやすくすると良いと思う。 《木津委員》</p>	<p>次回委員会では、施策をブラッシュアップ（メリハリを付ける、区の特徴を出す）した計画案を示せるよう準備します。</p>
25.	<p>施策（案）については、まだ議論されていない。骨子に記載された内容はあくまで例示である。次回委員会で抜け落ちがないかをしっかり議論し、分かりやすく整理したい。 《岸井会長》</p>	<p>次回委員会では、施策をブラッシュアップ（メリハリを付ける、区の特徴を出す）した計画案を示せるよう準備します。</p>
26.	<p>人口の推移から高齢化社会が予想されるため、高齢者に対する交通網から見た場合、どうそれを対処できるか 《萱場委員》</p>	<p>施策展開のページにおいて、「子育て世帯・高齢者等の移動支援の検討」の詳細を記載する予定です。</p>
27.	<p>区内には、狭くてバスが走れない地区もあるが、6人乗りや8人乗りのタクシーが出始めており、今後こういう中に取り組んでいく必要があると感じる。 《萱場委員》</p>	<p>地域内交通については、現在、公共交通専門部会にて検討を進めているところでございますので、検討結果をとりまとめた後、委員会へ提示する予定です。</p>
28.	<p>施策については、世の中の変化に応じて見直していけばよいが、新技術等の登場によって、基本方針を揺るがすことがないか、確認が必要である 《岡村副会長》</p>	<p>次回委員会で、社会動向を踏まえて基本方針を再確認予定です。</p>
29.	<p>火災等の災害時に、消防車や救急車が入れない道路を、いつまでにどの程度改善していくのかを記載してほしい。</p>	<p>消防活動困難区域の対策を施策に反映する予定です。</p>

	《大島委員》	
30.	延焼遮断帯の形成イメージのポンチ絵は不適切ではないか。(沿道の建物が同じで道路幅員が広がっている) 《大島委員》	ご指摘いただいた図の修正を検討します。
31.	東武鉄道と道路の立体交差化は本当にできるのか。 《大島委員》	立体交差化には時間が掛かるかもしれませんが、東武鉄道様と立体交差化に向けて協議を進めている状況です。
32.	基本的な施策について、「都市計画道路等の整備」とまとめてよいのか。分かりにくいのではないのか。 《岸井会長》	次回委員会では、施策をブラッシュアップ(メリハリを付ける、区の特徴を出す)した計画案を示せるよう準備します。
33.	立体化の事業主体は行政であるが、東武鉄道としては協力していきたい。 《小瀧委員》	ご協力ありがとうございます。
34.	タクシーについては、行政が支援していくべきだと思う。 《岡村副会長》	地域公共交通については、公共交通専門部会にて検討した後、計画案に反映させたいと思います。

4) 専門部会の検討状況について

No.	意見概要	意見・質疑に対する事務局からの回答
35.	専門部会については公開するの か。 《いわい委員》	検討概要、要点、議題は公開する 予定です。

5) その他について

No.	意見概要	意見・質疑に対する事務局からの回答
36.	アンケート調査結果(その他意見)について、「東武東上線で障が	左記とおりに修正します。

	<p>い者割引を導入してほしい」との意見が紹介されているが、実際には、障がい者割引は導入済であるため、丁寧に記載してほしい。</p> <p>《小瀧委員》</p>	
37.	<p>次回に向けての話題提供であるが、3/19の民放のテレビ番組で、西高島平が最果ての地として、紹介されていた。</p> <p>《大島委員》</p>	<p>情報提供ありがとうございます。</p>